

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年12月25日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	五島市	代表者名	市長 野口 市太郎
担当者部署	総務企画部	連絡先電話番号	0959-72-6369
担当者役職	係長	担当者氏名	志田山 貴弘
住所	853-8501 長崎県五島市福江町		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	東 富彦
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	オープンデータの取組意義、データを活用したアプリケーション開発の事例、全国のオープンデータ取組状況、ライセンスの役割、Q&Aなど、大変分かりやすい講演であったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年12月24日	9時00分	11時45分	15	150
3-2. 派遣場所	会場名	五島市役所内会議室		最寄駅	オンライン
	所在地	長崎県五島市福江町1番1号		最寄駅からの交通手段	市内に駅なし(市内ホテルから徒歩5分)
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市職員	33人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和2年度内に行政データのオープン化を目指しているが、各課にオープンデータの重要性が浸透していないため、取り組めていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	行政データを保有している各課がオープンデータの重要性を理解し、令和2年度内にオープンデータをカタログサイトに公開する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	行政データを保有する各課職員を対象に、オープンデータの取組意義、データを活用したアプリケーション開発の事例、全国のオープンデータ取組状況、ライセンスの役割、Q&Aなどについて講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	行政データを保有する各課職員がオープンデータの取り組みについて、概ね理解することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	令和2年度内に行政データをカタログサイトへ公開する体制が整備できた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添「K170_02_長崎県五島市_アンケート結果.xlsx」のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	令和2年度内にオープンデータをカタログサイトに公開する。(カタログサイトの準備は済み)※予算要求なし、ただし年度内に推進する	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

